

第6節 ともに進める『善きふるさと所沢』の環境づくり

環境指標の達成状況

指標項目	単位	目指す方向	基準値	上段：年次目標値／中段：実績値／下段：達成状況					最終目標値
			2022年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	
環境学習関連講座の参加者数	人	増加	2,776	2,800	3,000	3,200	3,400	3,600	3,600
				4,783					
				〇					
市ホームページ及びSNSによる環境情報の発信件数	件	増加	1,871	2,000	2,100	2,200	2,300	2,400	2,400
				2,332					
				〇					

【現状及び課題】

◆環境づくりに関する目標達成

社会全体の環境配慮意識の高まりもあり、環境学習講座の開催回数や参加者数が増加しており、市民との協働による環境づくりを着実に進めています。

また、市ホームページやSNSで旬を捉えた情報を継続的に発信することに努めました。

今後も、社会情勢や市民ニーズを的確に捉えた講座やイベントの企画・運営、環境関連情報の発信を継続的に行うことで、市民の環境配慮意識のさらなる醸成を図ります。

主な施策の実施状況

6-1 環境づくり・人づくりの推進

6-1-1 持続可能な環境づくりの推進

○国際的な枠組みへの加盟

2019年2月に世界首長誓約（Global Covenant of Mayors for Climate & Energy）、2023年5月に、イクレイ（ICLEI：持続可能な都市のための自治体協議会）に加盟し、国際的な枠組を通じて地域からの気候変動対策や持続可能な都市づくりに貢献しています。

各種会議やワークショップを通じて、他の誓約自治体や加盟自治体との情報共有を図り、先進事例や最新の知見を学びながら、地域の課題解決に向けた新たな視点やアプローチの獲得に繋げていきます。

○近隣5市（ダイアプラン）における共同事業

近隣5市で構成する埼玉県西部地域まちづくり協議会（ダイアプラン）環境部会では、2021年2月のゼロカーボンシティ共同宣言を受け、児童・生徒に環境問題について関心を持ってもらうための「第3回ダイアプラン環境ポスターコンテスト」を開催したほか、地球温暖化対策に関する講義・視察の実施、今後実施すべき取組についての検討を進めました。

さらに、ダイア5市が共同で「令和6年度地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」に申請し、



■世界首長誓約／コンプライアントバッジ

第6節 ともに進める『善きふるさと所沢』の環境づくり

圏域内の中堅・中小企業に対する脱炭素経営の支援体制の構築に向けた検討を行いました。この事業の一環として、支援ノウハウがほとんど確立されていない脱炭素経営を促進するための支援ツールと、金融機関の営業担当者が既存の顧客支援を強化するための支援ツールを作成し、脱炭素経営支援の担い手となる支援機関向けに勉強会を実施しました。

○所沢市脱炭素経営ネットワーク会議

2023年8月に「所沢市脱炭素経営ネットワーク会議」を設立して以降、金融機関、エネルギー、運輸など各部門の代表者が参加し、市内事業者の脱炭素経営を促進するための具体的な取組について議論しました。

[2024年度 活動内容]

- ・第2回本部会議（2024年4月） 参加数：21団体（46人）
- ・脱炭素経営ネットワーク交流会（①2024年7月・②2025年2月）
参加数：①49団体（133人）・②45団体（95人）
- ・所沢市民フェスティバルへの出展（2024年10月） 来場者数：約850人
- ・グランエミオ所沢での展示（2025年2月） 来場者数：約650人

6-1-2 環境教育・環境学習の推進

○ESD 調査研究協議会

ESD（持続可能な開発のための教育）調査研究協議会では、各学校が「今行っている教育活動がESDとつながっている」ことに気づき、持続可能な社会の創り手を育成することができるよう支援する趣旨の調査研究を行っています。

2024年度は、学校を会場とする研修会において、民生委員等の地域の方々にも参加いただきました。また、管理職・教諭・児童生徒を対象に、ESDに関するアンケート調査を行ったり、教育センターホームページで研究に関する刊行物の公開等を行いました。

○市民の意識情勢を図るイベント、出前講座

市民の環境意識を醸成し、環境の保全・創出に関する行動への参加を推進するため、環境講演会や環境イベント、出前講座などを開催しました。

[2024年度実績]

- ・パネル展示（7月・10月・1月・2月）
- ・環境講演会（2月 来場者：129名）
- ・出前講座（8回 受講者数：計1,188名）

○小学生用環境教育副読本「わたしたちの環境」

市内小学校の4年生を対象に2024年度版の「わたしたちの環境」を作成し、配布しました。新学習指導要領との整合性を高めると共に、児童がより環境問題を自分事として考える事ができるよう工夫しています。

[2024年度実績] 2,900部配布



■わたしたちの環境

○市の初級職員に対する環境研修

初級職員研修の一環として、おおたかの森トラスト代表を講師とする研修をおおたかの森トラストの再生地等にて実施しました。講話の聴講のほか、木の伐採・枝落とし、薪割り等の体験を通して、本研修の目的である、所沢市の生物多様性に関する課題や考え方について学びました。

6-1-3 環境保全活動の推進

○自治会・町内会への支援

本市では、「所沢市地域がつながる元気な自治会等応援条例」に基づき、地域活動の中心的な役割を担う自治会・町内会への加入と参加の促進を図るとともに自治会・町内会の活動を支援しています。

加入促進パンフレットの配布や、加入促進ポスター展を開催し、自治会活動を周知するなど、自治会・町内会の活動を支援しました。

○市民活動支援事業「所沢市アダプト・プログラム」

本市では、環境美化活動として“アダプト・プログラム”を実施しています。アダプト（ADOPT）とは、英語で「～を養子にする」という意味です。道路、公園、緑地、河川・水路等の市が管理する一定区画の公共空間を養子にみだて、市民が里親となって養子の美化（清掃）を行い、行政が支援するという美化活動です。

[2024年度実績] 登録団体数：39団体

6-2 環境情報の整備と共有化の推進

6-2-1 環境情報の体系的な整備

○環境情報の体系的な整備

市民や事業者が環境に関する情報にアクセスしたい時に、分かりやすい形でアクセスできるよう、体系的な情報整備を行っています（例：所沢市の環境、環境データブック、清掃事業概要、スマートフォン用家庭ごみ分別アプリケーション「わけトコっ!」、ホームページ、メガソーラー所沢及びフロートソーラー所沢の発電、SNS等）。

6-2-2 環境情報の共有化の推進

○環境情報の発信

まちごとエコタウン推進課の業務紹介、環境に関する用語紹介、RE100の日等について情報発信を行いました。引き続き、視覚的にわかりやすい情報発信を目指し、内容・デザイン等について検討していきます。

○生きものとみどり啓発事業

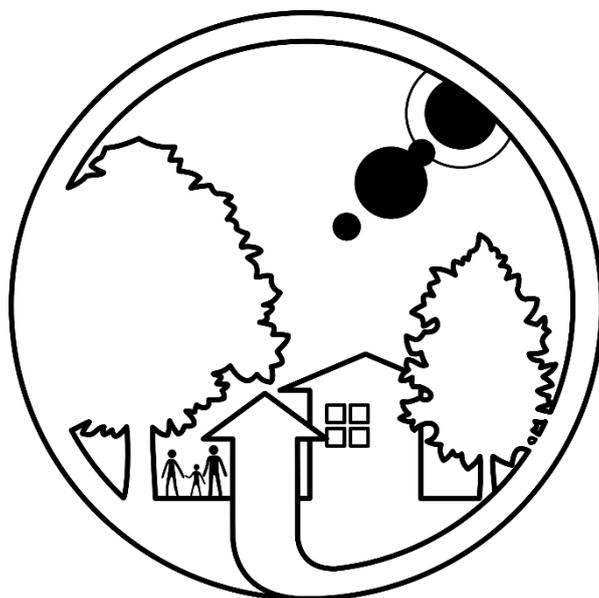
本市のブランドである豊かなみどりの保全や、生物多様性保全の市民の理解と意識の向上を図るため、みどりのカーテンコンテスト、夏休み昆虫教室、みどりのふれあいウォーク、環境展示会、狭山丘陵植樹イベントの開催にあたり、広報紙、市ホームページ、ほっとメールを活用して情報発信を行うことで広く参加者を募集しました。

○環境展示会

気候変動の現状と家庭でできる取組等の周知を行うため、気候変動の影響や家庭でできる取組、太陽光パネルや蓄電池、環境に関する企業・団体の取組、吾妻地区の児童・生徒によるSDGs・脱炭素ポスターについて、市役所1階市民ホールで展示を行いました。



■環境ギャラリーの様子



マチごとエコタウン
TOKOROZAWA